

学校教育目標	知・徳・体の調和がとれ、社会に貢献できる生徒を育てる。 「格致日新 - 真理を求め、日々努める -」	経営理念	(1)ミッション(地域における自校の使命) 『教職員、生徒、保護者、地域との信頼関係を基盤として、これからの社会の変革に向けてたくましく生き抜いていく人材の育成』 (2)ビジョン(使命の追及を通じて実現しようとする自校の将来像) 『保護者・地域との結びつきを大切にし、和文化学習を通して生徒の「進んで 学び 考え 行う」力を育成し、向陽中学校で学ぶことを誇りに思える学校へ』
--------	---	------	--

評価計画						自己評価				学校関係者評価 (学校運営協議会による評価)		改善方針					
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方針			
							9月	1月									
確かな学力	1	主体的な学びの定着に向けた土台づくり (確かな学力の定着)	①学びに向かう姿勢の確立	・家庭学習の習慣化 ・授業のまとめ等を自主的に整理する。(ノート整理)	★「向陽健児」の提出率95%以上 ★ 家庭学習が習慣化している生徒85%以上	3	84.4%	88.8%	87.6%	103.1%	3	「向陽健児」の提出については84.4%、家庭学習の習慣化は87.6%で、ほぼ目標値に達している。今後、「向陽健児」の提出や家庭学習が習慣化していない生徒への継続的な指導が必要である。	B	家庭学習の大切さを生徒自身がきちんと理解してほしい。	家庭学習の意味を理解させるとともに、その目的を達成できる課題を準備する。		
			②読書活動の充実	・朝読書の実施 ・リニューアル学校図書館の活用	★年間読書12冊以上の生徒90%以上 ★年間読書十進分類法で3つ以上読破の生徒70%以上 ★図書室満足度90%以上	3	63.4%	70.4%	48.4%	69.1%	99.4%	2	年間読書12冊以上は63.4%、十進分類法で3つ以上の読破は48.4%、図書室満足度は89.5%と目標は達成できなかった。生徒に幅広いジャンルの本を読むことの取組は効果が高くなかった。	B	図書館を利用できる時間の確保について工夫することで効果が高まると思う。	授業において、図書館を活用する機会を設定する。	
			③学習規律の定着と授業改善に向けた取組と校内研修の充実	・学習規律の共通認識に基づく指導と小中連携 ・生徒が自ら学ぶ授業づくり	★学習規律到達度90%以上 ★授業満足度90%以上	4	96.1%	100%	89.5%	99.4%	3	授業における学習規律を全教職員で確認し、小学校と授業交流や協議を通して連携を図った。研究テーマに沿った授業を全職員が実施し、授業内容を工夫することができた。	A	授業内容の理解が進むよう、工夫された準備がなされていた。	分かる授業の展開により、学力の向上と主体的な学びの深化につなげていく。		
			④探究的な学習の指導と学力定着	・各教科における個人レポートの作成 ・前年度同時期における定期試験正答率30%未満生徒の割合	★国社数理英におけるレポート課題各1回以上 ★前年度比100%未満	3	85%	102%	85.0%	98%	2	教科におけるレポートの作成によって、思考力・判断力・表現力の育成に取り組んだ。定期試験等の結果から生徒の学力補充は、引き続き学年や教科担任が中心に取り組んでいく。	B	生徒自身の考えを反映させる学習は大切であると考える。	各教科の思考力を高める授業に基づき、各個人の考えをまとめる学習活動を取り入れる。		
豊かな心	2	生徒一人一人が力を発揮する学習環境の創出 (不登校生徒の減少)	⑤相談体制とスペシャルサポートルールの充実	・相談室からの情報発信 *SCの積極的活用 ・SSRの設置運営	★SCによる全員面談(1年生対象) ★不登校生徒前年度比100%未満 ★不登校生徒の進路実現100%	4	100%	100%	100%	100%	3	不登校率は、昨年度は4.6%であったが、今年度は4.5%である。適応指導教室(SSR)を中心として個々の生徒実態に対応し、登校できる日数が次第に増えてきた生徒がいるとともに、教室へ復帰した生徒もいる。	A	不登校生徒の改善に向けて、SSRの効果が見られる。	SSRでの学習を柱に、欠席が続く生徒の状況改善に向けた取組を継続する。		
			⑥生徒による主体的活動の充実	・部活動の活性化 ・生徒会活動の活性化	★部活動満足度90%以上 ★体育大会、文化祭等満足度90%以上	3	94.9%	105%	90.2%	100%	3	部活動では、意欲的に活動する生徒が多く、大会やコンクールにおいても好成績を残している部活動が増えている。また、生徒会行事では、昨年度に比べ、発表の場が増え、意欲的に活動できている。	A	教職員の働き方の課題がある中、限られた中で部活動の活性化に努力している。	生徒自らが考えて行動し、努力するための意欲づけを大切にしたい指導を行う。		
			⑦「向陽三訓」の徹底	・朝会時の「向陽三訓」唱和 ・挨拶運動の実施 ・生徒会活動「生徒会いじめ0宣言」の取組	★明るい挨拶ができる生徒90%以上 ★丁寧な言葉遣いを意識する生徒90%以上 ★人を思いやる心(いじめ解決率)100%	4	92.2%	102%	91.7%	101%	100%	3	向陽三訓の「明るいあいさつ」、「丁寧な言葉遣い」においては、肯定的評価が90%以上を示し、目標を到達している。また、いじめ等の問題はアンケートや生徒の訴え等から積極的に把握し、解決に向けて徹底した指導を重ねている。	B	学年によって挨拶の変化もあり、挨拶の姿勢に隔たりが見られる。	相手を敬い大切にする行為の土台でもある挨拶の重要性を生徒に認識させていく。	
			⑧和文化学習の充実	・「和文化学習」の実施と情報発信	★生徒満足度90%以上	3	86.8%	96.4%	2	3年生の和文化学習を見学した下級生が興味を持って和文や伝統について学習している。2年生の職場体験学習では、礼儀やマナーにも生かしていくことができた。	B	学習したことを発表する場があればよいかもしれない。	和文を学ぶ意義を考え、その目的を達するような学習活動にしたい。				
信頼される学校	3	生徒の豊かな学習環境の創出 (誇れる学校)	⑨服務規律厳正確保	・服務研修の実施 ・働き方改革(業務改善)を意識した組織的な校務運営	★不祥事0 ★超過勤務月平均80h以下 100%	4	100%	100%	3	本校ではここまでの教職員の不祥事発生件数は0である。今後も油断なく研修等に努める必要がある。超過勤務については、月平均50時間程度で昨年度とほぼ変化がない。今後も業務改善の推進が求められる。	B	超過勤務の問題は、減少したことがよいだけではなく、中身が重要である。	働き方改革が進められる中、学校業務の整理と精選を、継続的に検証していく。				
			⑩情報の積極的発信と受信	・HP・学校だよりの迅速な更新と配布	★学校だよりの発行月1回以上	3	100%	100%	3	学校だよりは夏季休業期間の8月を除く毎月1回発行し、保護者や地域に配付している。HPも随時継続して更新し、情報の発信に努めている。	A	情報が伝わらない保護者にどう伝えていくのかも考えていってほしい。	学校の様子を適切に伝えていくことを継続する。				
			⑪ICT機器の学習指導への積極的導入	・学習におけるタブレット端末の効果的活用	★「タブレットが指導に効果的であった」90%以上 ★タブレットの授業活用が月1回以上 ★生徒によるタブレット活用の有用感80%以上	3	89.2%	99.1%	94.8%	105.3%	88.1%	110.1%	3	タブレットが指導に効果的であった89.2%、授業活用月1回以上が94.8%、活用の有用感が88.1%で、ほぼ目標と同等である。今年度はタブレットを活用した授業づくりに教員が取り組むとともに、タブレットを家庭へ持ち帰るなど、タブレットを活用する機会が増えている。	B	生徒の苦手克服にICTの活用は効果がある反面、文字を読む読書の低下を危惧する。	学習を深化させるためのタブレット活用を、今後も学習活動に取り入れていく。
			⑫新型コロナウイルス対策の徹底	・三密(密集、密閉、密接)のリスクを断つ	★マスク着用100% ★手洗い励行100% ★1時間ごとの換気実施100%	3	100%	100%	98.8%	98.8%	100%	100%	3	新型コロナウイルス感染拡大の状況も3年目となり、感染防止対策に対して生徒も順応できている。校内での感染状況も皆無とは言えないが、爆発的な感染が発生するような状況はない。今後も継続的に対策を見直していく必要がある。	A	感染症対策は必要であるが、冬季の換気のし過ぎが心配である。	今後も、生徒が健康について考え、安心の環境の中で、教育活動を進めていく。

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価  
4...目標を上回って達成 3...目標どおりに達成  
2...目標をやや下回って達成 1...目標をかなり下回って達成

■学校関係者評価(学校運営協議会による評価)  
A...とても適切である B...概ね適切である  
C...あまり適切でない D...全く適切でない  
(N...判定できない)